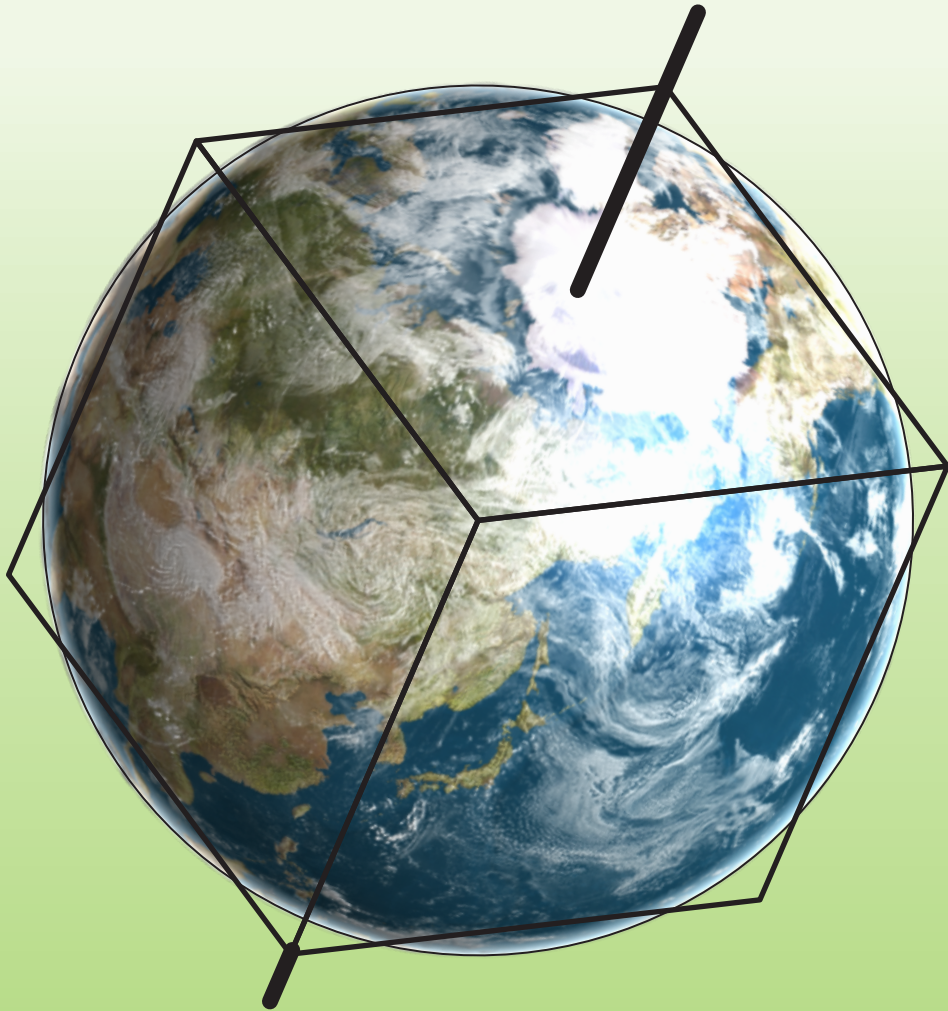


Cubic Earth

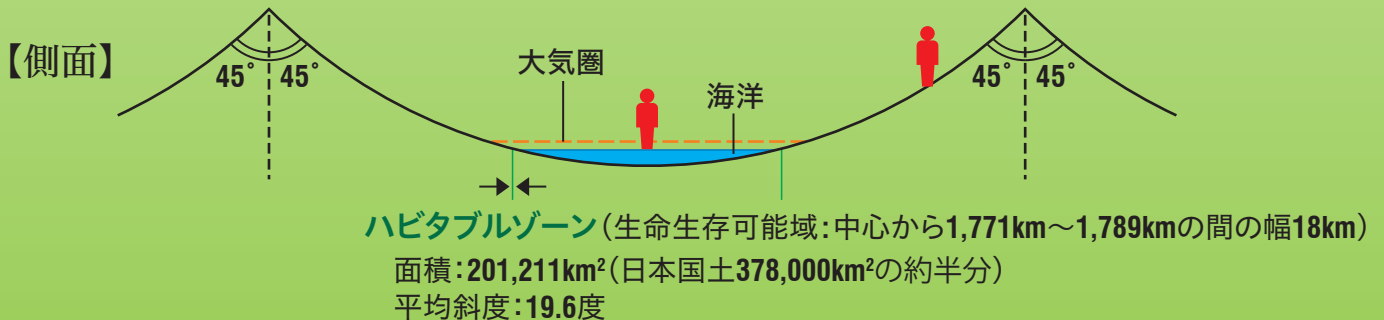
もしも地球が立方体だったら

「地球が立方体だったら、地球表面の環境がどのように変化するか」を考えたものです。現実にはありえない形ですが、このようなことを考えることで、私たちが実際に住んでいる地球の環境がどのようにつくられているか、よりよく知ることができます。



立方体地球上での大地の見え方【海あり赤道面】

丸い地球の大地が水平に見えるように、立方体地球では立ち位置によって、角や辺に向かって大地がそびえ立つように見える。



もっと詳しく知りたい方

www.jss.or.jp

公益財団法人 日本科学協会のホームページで「Cubic Earth」の映像と解説を見ることができます。

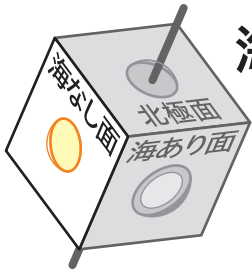


日本科学協会

The Japan Science Society

立方体地球模式図

【縮尺:1億分の1】



海なし赤道面

【側面】

ハビタブルゾーン

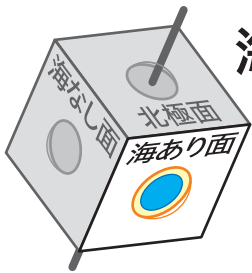
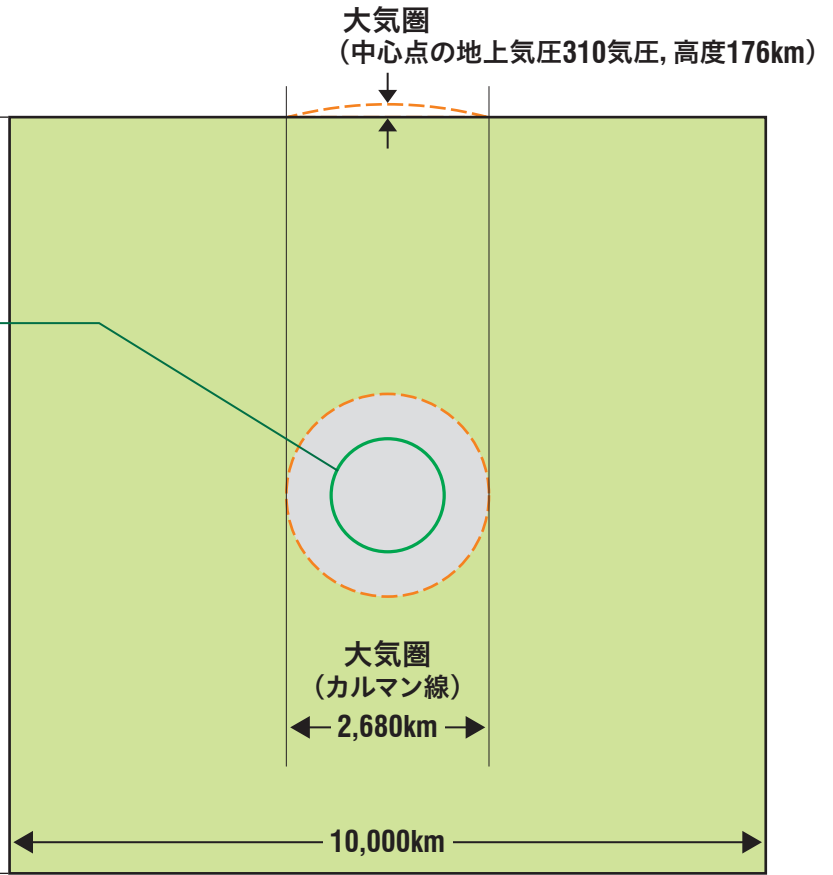
(生命生存可能域: 0.5~1.0気圧帯)

中心から726km~769kmの間, 幅43km

面積: 201,855km²(日本国土378,000km²の約半分)

平均斜度: 8.5度

【正面】



海あり赤道面

【側面】

ハビタブルゾーン

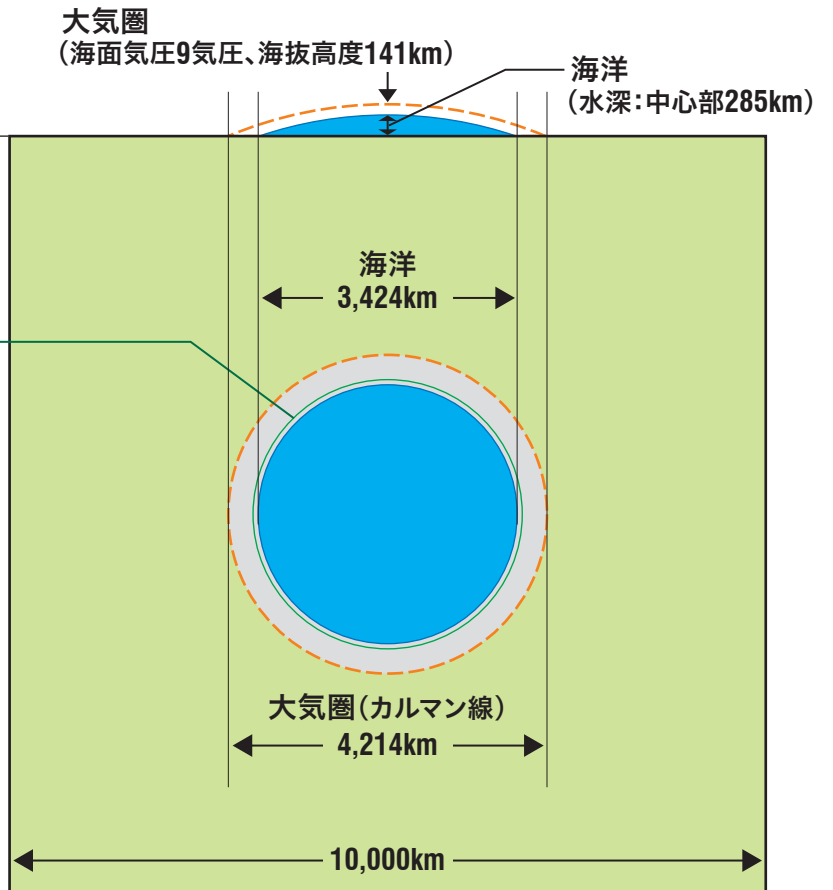
(生命生存可能域: 0.5~1.0気圧帯)

中心から1,771km~1,789kmの間, 幅18km

面積: 201,211km²(日本国土378,000km²の約半分)

平均斜度: 19.6度

【正面】



■ハビタブルゾーン

生物が生きていくためには、適度な温度、気体の酸素の存在、液体の水の存在が必要だと考えられています。この生物が生きていくことができると考えられる領域を、ハビタブルゾーンといいます。

■カルマン線

国際航空連盟によって定められた大気圏と宇宙の境界線で、100万分の1気圧、丸い地球では海拔高度100kmに位置する。